

1 学期勉強の仕方

1. 初めに

⇒ 1年間化学を担当します首藤大貴（しゅとうだいき）です。よろしくお願いします。さて、あと1年もないこの期間で、化学を1からすべて構築していくのがこの講座です。みなさんにはこの短い時間で効率よく化学を学習せねばなりません。そのためには、「勉強するときの意識」が非常に重要になってきます。この夏までの1学期に勉強するときの意識すべきことをまとめておきますので、参考にしてください。

① 前期は英語と数学を中心に勉強をする。

⇒ 化学という科目は、ほかの科目に比べ範囲の狭い科目です。その気になれば後期からでも死に物狂いでやれば間に合います。（もちろんそれはきついので前期からきちんとやるわけですが。）それに対し、英語と数学は範囲が広く、また、定着（点数として実感できるまで）に非常に時間がかかります。（一般に3か月と言われています。）よって、前期は英語と数学を中心に勉強をすべきです。特に理系の方は、英語をおろそかにしがちですが、英語は数学より点数が安定しやすいですから、必ず逃げずにやりましょう。英語は量と成績がきれいに比例する科目です。そうはいっても理科をしなくていいということではありませんから、平日は1日5時間勉強できるとして、英語：数学：理科①：理科②＝2h:2h:0.5h:0.5hがよいかと思います。具体的な化学の勉強の仕方に関しては、後述します。

② まずは勉強体力を付ける

⇒ 「勉強しているけどなかなか成績が伸びない…」という生徒にある特徴ですが、特に苦手の科目に関して、1時間連続で勉強してられないということが多々あります。（英語が苦手な人は、英語の長文をノンストップで1時間読んでいただけますか？ということです。）そのような状況では、勉強時に集中力が持たないわけですから、その科目の知識が断片的になり、定着しにくくなるのは予想が付きますよね？なので、前期は特に苦手科目を我慢して連続して長時間勉強できる体力を付けましょう。その科目が好きになれば簡単ですよ。

③ きちんと先生の指導方針に従う。

⇒ 受験生の方に多いのが、「自分のやりたい勉強をやる」ことなのですが、確かに自分で考えて勉強することはいいことです。しかし、自分のやりたいことだけをやっていると、自分の好きな勉強（得意科目）に偏った勉強になりがちです。勉強って得意を伸ばすことも大事ですが、「苦手科目をできるようにする」方が成績の伸び幅って大きいんですよね。なので、自分だけではなく、先生などに言われたことは真摯に受け止めてやった方がいいです。先生は「受験に大切なこと」を中心に指導するものですから。

2. 化学の学習と授業時の注意点

⇒ まず、化学の勉強で、「先輩が薦めてくれたから…」とか、「先輩が使ってたから…」という理由で、実力不相応の問題集を解こうとする生徒さんが毎年多いのですが、特に問題集は必要ありません。化学の学習に関して、駿台の授業で受験に出ることが網羅できるわけなので、わざわざ無駄な労力を使う必要はないということです。さらに、問題集をがつつ解こうとする人に良くあるのが、「その問題が何を問っているのかよくわからないが、解答を覚えて計算結果だけはあるのでできた気になる」ことですが、これが一番まずい。

私の化学の授業では、しっかりと「理論構築のための講義」を中心に行い、きちんと内容を俯瞰したうえで、計算問題を解きます。前期にむやみに化学の成績上昇を求めないでいただきたい。その勉強は必ず無理が出ます。**ぐいっと成績を伸ばすためには「きちんとした問題背景理論を頭で整理できた上で問題を解く」ことが必要不可欠**です。みなさんにもそれを意識してほしい。

さて、その次元までに化学の「真の実力」を持っていくために、授業があるわけですが、1週間にたった2時間半で、理論の講義と、演習問題の解説（問題を解くポイントなど、着眼点の解説）をしなければならない駿台の化学の授業は、だいぶ時間的にきつい部分があります。そこで、みなさんには、きちんとした、「予習と復習」をしていただきます。流れは以下。

① 次の授業の内容をテキストを読んで理解し、基本チェックを解いてくる（1~2h）

⇒ 授業の内容をある程度頭に入れておいてから、授業に臨んだ方が効率的な勉強ができます。よって、予習の段階でテキストの内容に目を通しておいてください。またその理解が十分であるかどうか確認するために基本チェック問題も解いておいてください。予習していただいた内容をより深める講義をまず授業では実施し、その翌週、演習問題の開設を行います。

授業では難しい内容の説明と、演習問題の解説を行います。間違っても、「**すべての問題が予習段階でできてる」必要はありません**」ので、わからないならわからないでいいので、完璧に解こうとしないでください。

予習は以下の進捗表を参考に進めてください。

期	回	①	②	テスト
前期	1	オリエン・化学とは	原子の構造	オリエン
	2	演習6・電子配置・周期表	物質質量	周期表
	3	演習7・8・5・1	演習2・3・濃度	イオンの化学式
	4	演習4・周期律	周期律・化学結合	化合物①
	5	演習9・イオン結合	金属・共有結合	化合物②
	6	演習10・11	結晶格子	mol計算①
	7	演習12・13	演習14・分子	mol計算②
	8	演習15・16・17・18	酸と塩基の定義	mol計算③
	9	演習19・酸と塩基の強弱	電離平衡・緩衝液	mol計算④
	10	演習22・24	中和と塩・滴定	周期表
	11	演習20・21・23・25	演習26・27・28・29	イオンの化学式

② 授業:授業内で 100 パーセント理解して帰る(大原則)

⇒ ノートを取りあえずとって、家帰ってから読み返そうなんて考えは甘いです。授業はノートもとりますが、言葉で説明もついているのが授業の場です。その場で理解して帰ってください。(質問対応は授業前後 1 時間は受け付けます。)

③ 復習:類題を解く(1h~2h)

⇒ 演習授業において、ノートを見返すことははっきり言って全くの無意味です。授業内で理解してしまえば、その場では実際に自分の手を動かしてノートに書いて血肉化してるわけですから、帰ってからノートを見返す必要などないはずなのです。よって**復習は、授業で身に着けた解法を、自分できちんと運用できるか確認する場でなければなりません。復習問題を指定しておきますから、必ず復習問題を解いておいてください。**(問題集に関しては、夏休みにまとめてやる方が実力の確認になっていいと思います。)

3. 暗記テスト

⇒ 「化学は暗記科目だ」という人に対しては、私は徹底的に反発をします。しかしながら、数学であれば、数字、四則計算、定理、公式などなど。英語であれば、アルファベット、単語、文法などなど、「その学問をするための道具」があります。

化学が暗記科目と言われてしまうのは、化学が高校生から学ぶ学問であり、いわゆる「常識」が入っていない状態で勉強を始めてしまうために、内容が積み重なり、つながりが見えないまま点数取るために覚えちゃえになってるからだろうと考えます。そりゃ、常識がなければ、道具がないわけですから、全部暗記になっちゃいますよ。ピアノの弾き方の型を習っていれば、新しい曲でも弾けますが、ピアノ初心者がピアノ弾けって言われたらよくわからないので、指の動きを 1 曲分暗記するしかなくなりますもんね。

なので、**化学を暗記科目にしないための「常識」を覚えていただく必要があります。**そのまとめ冊子が別冊でお配りしておりますので、そちらに書いているテストの進度表を参考にして、勉強をしてきてください。

その内容に関しては、**1 コマ目と 2 コマ目の間の 20 分の休み時間に 5 分間を使ってテストしていただきます。次週の授業の時に教卓の上においておいてください。**

4. 確認テスト

⇒ 授業を受けて問題の解き方を理解したとしても、実際に手を動かして問題を自分で解けるようにしないと、成績の伸びはなかなか見受けられないでしょう。よって、前週の授業内容をテストします。

内容に関しては、前週の授業内容の講義および演習問題の内容を問う問題で、演習問題の類題を 2 題用意します。授業のある日は忙しいので、必ず「**授業の受けた週の週末の土曜か日曜にテスト受験・自己採点・やり直しをしたうえで、翌週の授業にて提出**」してください。

5. 高卒の 1 年の過ごし方について

⇒ 私自身、1 年間浪人をした身であるので、経験を元に簡単に 1 年間のアドバイスをしておきます。

● 夏までが勝負と思って勉強をする。

⇒ 浪人をした人は、本番で実力を出し切れなかった人が多いので、実は本番に弱いメンタルをしている人が多かったです。夏以降は、現役生の成績が伸びてくるわりには、浪人生が成績の停滞期に入りやすいので、勉強が手につかなくなってきました。よって、夏までにある程度進めるだけ勉強を進めておくことが大切です。英語・数学(センターレベル)を徹底的にやってしまいましょう。

● 予備校は欠席・遅刻はしない

⇒ 予備校ははっきり言って自由です。メンタルの弱い・意志の弱い方は「まあ、1 回くらいいいか...」と魔がさすことがあります。そんなことを考える人間が、1 回だけになるわけです。とりあえず授業に来るということを習慣化し、強制的にでも授業を受けてる時間は勉強させられるようにしましょう。

● 日曜日はきちんと休む

⇒ 平日の勉強の間にちょっと遊んだりとか、ちょっとスマホ見たりとかは、実感としてあまり休んだ気になりません。だから、平日はもう勉強だけに集中して、休日は逆に遊ぶなら思いっきり遊んでしまったほうがいいと思います。

● 平日授業中眠くなるなら、睡眠時間を変える

⇒ 日中の授業中に眠くなる人は、生活リズムががたがたです。浪人生で睡眠時間を削ってでも頑張るという勉強は、必ず途中で無理が出て、反動で全く勉強のできない時期が来てしまいます。ちゃんと栄養を確保してるのに授業中眠いなら、睡眠を見なおしてください。**1.5 時間の倍数がいいなんていう嘘を信じず、自分が最も睡眠時間を探してください。(am1:30 ~am 6:00 は必ず睡眠時間を挟むようにしましょう。)**

● 予備校内で友達を作る

⇒ 連絡先の交換をしてラインを白というわけではなく、予備校の中で一緒に勉強をできるひとを見つけようということです。友達と一緒に勉強するという約束をすれば、強制的にでも勉強する時間を確保できるし分からないことは聞くことができます。また、ライバルとして「絶対負けねえ」って気持ちが生まれるのでいい効果を生みます。一人でふさぎ込むより、大学行ってから先は勉強ができるよりも、どれだけ人と関わり情報得たりや人脈を広げられるかが成功への突破口になりますから、恥ずかしがらず積極的に話しかけていきましょう。人見知りに損あれど、得はありません。